

特許出願公告及特許拔萃

特許出願公告拔萃

移動給炭機の改良 (7年特許公告 第2746號、公告7-7-11、東京市、三菱造船株式會社) 火床棧より落下漏洩する粉炭及灰滓が火床棧間の隙を滿して通風を阻害し其の一部は給炭機前部に運ばれて汽罐室を不潔ならしめ且つ落下炭滓の除去を繁忙ならしめ又移動チェーンの磨滅を迅速ならしむる等従來の移動給炭機の缺點とする處を簡単に除去せんとする特許第85883號發明の目的を一層完全に遂行せしめんとする目的を以て、給炭機火床棧支受梁の背面に段違ひに對向して然も上下重合する如き位置に灰受けを取付け且つ火床棧下部に灰受を具備せる移動給炭機に於て更に移動チェーンの齧合ふべき齒車を給炭機後部軸にも裝備し該軸に巴狀形に羽根を取付け且つ之れに近接して給炭機枠に薄板製の案内板を取付けたる装置。

耐壓燃燒室 (7年特許公告 第2749號、公告7-7-11、瑞西國、アクチエンゲゼルシャフト、ブラウン、ポベリー、ウンド、コンパニー) 完全なる密閉と平滑なる表面とを有する耐壓燃燒室を容易に築造せんとする目的を以て、燃燒室の壁は螺旋形に捲付けられたる若しくは耐壓鋼套の内側に装着せる管列によりて形成せられ平滑なる表面を得る爲めにその内側を鍛接したることを特徴とする高壓を受くる冷却物により冷却せらるゝ瓦斯タービン蒸氣發生機等の耐壓燃燒室。

カーバイド生成混合物及窒素より石灰窒素を製造する方法 (7年特許公告 第2752號、公告7-7-11、獨逸國、ニユデモ、カーロ外一名) 經濟的に石灰窒素を製造せんとする目的を以て、カーバイド生成混合物例は磷酸石灰、炭酸石灰、酸化石灰等と石灰との混合物並に窒素より一工程にて直接石灰窒素を製造する方法に於て反應混合物を最初 900~1,600°C に加熱し次に炭化石灰を生成せしめんが爲めに混合物の熔融するを避けつゝ溫度を上昇せしめて 1,600~1,900°C を超過せざる溫度に加熱し後溫度を低下して 1,000~1,200°C に於ける後處理を長時間續け是等三階梯中には絶えず窒素を通ずるか或は第二第三階梯若しくは第三階梯のみに窒素を通ずる事の特徴とする石灰窒素の直接製造法。

軌道焼入装置 (7年特許公告 第2764號、公告7-7-11、大阪市、奥村千吉) 別に焼入槽を設くる事なく軌條の焼入を容易迅速且充分に行はんとする目的を以て、固定せる狹持片と之に向つて壓着自在なる狹持片との間に軌條を強壓して狹持せしめて軌條の幅方向の彎曲を直

して直狀に保ち軌條の摩擦面と挾持片と臺との間に形成せられたる空間に液體を噴出せしめて摩擦面の焼入を一時に行ふべくして成れる軌條焼入装置。

蓄力機用水壓唧筒自動運轉装置 (7年特許公告 第2765號、公告7-7-11、東京市、株式會社東京石川島造船所) 先づ人力によりコントローラーの把手を停止位置より起働位置に移動して水壓唧筒モーターの運轉を開始するときは蓄力機は次第にアツキユムレトなし遂に一定の位置迄上昇すれば其モーターの起働を停止せしめ次に蓄力機が一定の位置に降下すれば再び其モーターをして起働せしむべき簡單なる水壓唧筒自動運轉装置を得んとする目的を以て蓄力機の上下に應じ開閉すべくなれる働作弁と昇降し得る水壓缸重機とを具へ該水壓缸重機の唧子に取着けたる滑車に經絡せる索條の他端はコントローラーの把手の位置を移動せしめ得べく取着けられて重垂兼起働用唧子に連結し該唧子は唧子降下加減弁を設けたる水筒内に昇降し得る如くなしたることを特徴とする蓄力機用水壓唧筒自動運轉装置。

二溝二軸抱索子 (7年特許公告 第2734號、公告7-7-11、東京府、玉村友明) 各攪蓋を閉ち各溝に嵌入する曳索の一條に接觸するや各曳索の太さの異同に對應し各攪蓋に對し緩和的態度を保持する攪底の一對をして兩攪軸の左右何れかに遊動せしめ各攪蓋と各自の曳索とを密接せしめ一旦雁行する曳索の一條を切斷し攪蓋を落ち開きて其の斷片を脱出せしむる危機一髮の間に際し搬車の自重によりて直ちに攪蓋の閉鎖を復舊せしめ残留せる曳索との接觸を寸分も絶つことなき攪底の一對を驅りて攪軸へ密接せしむるに到るや空溝に面して遊離する攪蓋に取つて代り残れる唯一の曳索を壓迫する任務を完了せしめ遭難せる搬車の墜落を防ぎ尙且之をして間斷なく運行せしめんとする目的を以て重力抱索子の客攪柄の頭部に於て一定なる水平間隔を保ちたる2個の眼孔に隙間なく挿入せる攪軸の1本は比較的多大なる回轉角を有する主攪柄と之に一體なる主攪蓋とを支持し同様に他の一本は主攪蓋に齧合ふたる各攪蓋を支持し各攪蓋に對向して各自の曳索を抱擁すべき各自の攪底を形成する内核若しくは外殼の上邊に遍圓なる2個の眼孔を穿ちて其の上下に密接し其左右に片寄らしむべく挿入したる2本の攪軸を有する二溝二軸抱索子。

運炭車車軸軸承部の改良 (7年特許公告 第2813號、公告7-7-15、北海道、佐藤忠助) 車軸頸部に對する給油を圓滑ならしめ且粉炭塵埃等の侵入を防止するこ

とに依り車軸部の磨滅を著しく軽減せんとする目的を以て、軸孔の外に周縁に近く穿設したる全周溝と聯絡せる油溜用凹部を下底に設けたる車軸管の中空内に下底と共に軸頸部を支持すべき軸承桿を軸管と一體に形成し其上面は左右に彎曲傾斜面を形成し而も該面と筐壁との間には前記軸孔と聯絡せる空洞を保持せしめ且前記軸承梁上に載置したる隔網上に浸油物質を充填し之を撥條體を介して車輛臺枠にて常に押壓すべくしたることを特徴とする運炭車車軸部。

硫黄溶解製煉法(7年特許公告第2318號、公告7-7-15、東京市、久保利之吉外二名)簡單迅速に且最も經濟的に品位劣等なる鑛石をも完全有利に處理し一層多くの精製硫黄を出さんとする目的を以て、硫黄石と二硫化炭素と水とクロールカルキとを混じ加熱により硫黄の溶解と鑛石抱合の有機物の脱取と溶劑の蒸餾回收と晶出硫黄の分離とを同時に併行して硫黄を分取する硫黄溶解製煉方法。

アルミニウム及其合金の電氣導體製造法(7年特許公告第2828號、公告7-7-15、東京市、鳥羽安行)抗張力高く而も導電率高き物理的性能優秀なる輕金屬の電氣導體を得んとする目的を以て、アルミニウム及其合金を熱間壓延により荒延材となすの第一工程と次に之を固相線以下の高温度に熱して熱硬化温度以下に急冷するの第二工程と次に之を固態溶解度曲線以下の比較的低温度にて焼戻硬化を行ふの第三工程と次に之を常温に於て1,000%以上の断面縮小の機械的加工をなすの第四工程と次に之を再び焼戻硬化を行ふの第五工程の結合を特徴とするアルミニウム及其合金の電氣導體製造法。

セメント迴轉窯用石炭燃焼管の改良(7年特許公告第2838號、公告7-7-10、東京市、七尾セメント株式會社)燃焼管の過熱燒損せらるゝを防止して耐久的ならしめ得ること燃焼を完全燃焼せしめて爐内燒成帶を高熱に保持し燒塊の燒出量を増加して燃料消費を最も節減し得る装置を得んとする目的を以て、内外の二重管より構成せる燃料燃焼管の外管先端にウォータージャケットを形成せしめて該部を冷却し得べくし且内管先端を截頭圓錐狀に形成せしめて外管端より適度に後退せしめ該内管に燃料と給氣との大部分を又外管に給氣の一部を供給することにより燃焼管を冷却せしむると同時に外管より熱氣を射出し以て燃焼焔に給氣すべくせるを特徴とする微粉炭燃焼装置。

電解に依り金屬面上に着色層を施す方法(7年特許公告第2843號、公告7-7-18、新潟縣、福島要

吉)操作簡便短時間に金屬表面に色調鮮麗にして強固なる黒着色と防銹被覆とを得んとする目的を以て、硫酸ニッケル、鹽化アンモニア、硫青化加里及び硫酸亜鉛或は硫酸銅を加へたる溶液を主成分とすることを特徴とし尙ほ是れに可溶性のカドミウム鹽、鐵鹽及び少量の無機或は有機の酸類を混じたる溶液を電解液とし是れに適當なる熱を考へ陽極としてはニッケル銅、亜鉛又は是等の合金板を用ひ着色せんとする任意金屬を陰極とし電解に依り金屬表面に着色する方法。

シリンダー内壁に對し均一壓力を及ぼすピストンリングの製造法(7年特許公告第2860號、公告7-7-18、東京市、財團法人理化學研究所)優良なるピストンリングを最容易に製造せんとする目的を以て、豫め開を作りたる半成のピストンリングに彈性圓筒を應用し一樣なる内壓を加へて其芯を正しく支持すると同時に是等の半成リングに對し上記内壓より大なる外壓を加へて其の開きを閉鎖しつゝ其外径を所要の寸法に切削するシリンダー内壁に對し均一なる壓力を及ぼすべきピストンリングの製造法。

ピッチ又はアスファルトの揮發分を採集し同時にコークスを製造する方法(7年特許公告第2861號、公告7-7-18、東京市、財團法人理化學研究所)ピッチ又はアスファルトを全然流動性に富める液體として取扱ふを得しめ従つて如何程多量なる原料と雖も之を一時に處理して揮發分を採取すると同時に全體均質なるコークスを製造し得るのみならず低温度にて分解し使用装置の壽命をも増加するを得しめんとする目的を以て、常壓又は以下に於てピッチ又はアスファルト類の加熱溶解物を絶えず攪拌して其全體を燃料を調節して攝氏約400°附近に保ちつゝ液體にて熱分解の殆んど全部を遂行せしめて揮發分を採取し其の温度が該燃料の調節にも拘らず上記温度より更に急に上昇し始むるや否や攪拌を停止することを特徴とし以て全體を一樣に固化せしめて均質なるコークスを得しむべくせるピッチ又はアスファルト類の揮發分を採取し同時にコークスを製造する方法。

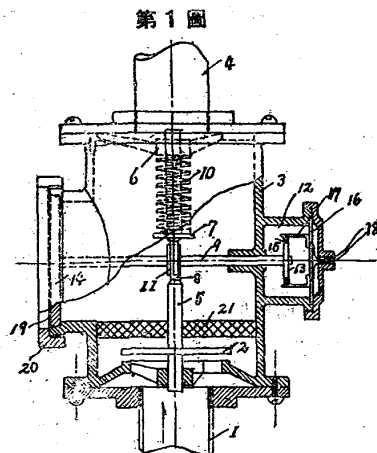
リボンボンド製造法(7年特許公告第2369號、公告7-7-18、東京市、株式會社日立製作所)工作簡單にして堅牢なる端子部を得んとする目的を以て、端子金具頭部に兩側及中央に突壁を残してU字形の溝を設け該溝中に中央突壁を繞りて成層せるリボンの折返し部を嵌合し之を該溝に適合する蓋にて上方より抑へたる後型に填充し加熱壓搾して一體に分子結合せしむると共に端子の外態を整形することを特徴とするリボンボンド製造法。

銅鐵錫鑒素亞鉛合金 (7年特許公告 第 2881 號、公告 7-7-20、東京市、日本特殊金屬工業株式會社) 磁性を有し抗張力及耐摩滅性大にして且つ價格低廉なる合金を得んとする目的を以て Cu 50~92%、 Fe 5~35%、 Sn 1~7%、 Al 1~7%、 Zn 1~30% を含有せる合金。

銅、鐵ニッケル合金 (7年特許公告 第 2883 號、公告 7-7-20、東京市、日本特殊金屬工業株式會社) 磁性を有し抗張力及耐摩滅性大にして且つ耐酸性並に耐蝕性並に耐蝕性を有する合金を得んとする目的を以て Cu 50~92%、 Fe 7~40%、 Ni 1~40% を含有する合金。

・輪轉式電氣鍍金裝置 (7年特許公告 第 2889 號、公告 7-7-20、京城府、宮村作次郎外一名) 鍍金せらるべき多數の金屬體を一の槽に於て連續的に處理し且つ槽内に被處理物を移送する操作及之を槽外に取出す操作を凡て自動的に而も一定時間毎に作用せしめんとする目的を以て陰極電源より電導すべくやられたる廻轉體の殼に夫々接続せられ該廻轉體の周縁に沿ひ放射狀に設けられたる數個の鈎と之と同數の突起を植設したる 2 個の廻轉體を電鍍槽内に於て該槽の側壁に軸架せられたる廻轉軸上に特設せしめ兩側壁の外側には廻轉軸の延長上に前記鈎と同數の齒を有する棘齒輪を裝着し其の周縁に従ひて上下する突桿の他端は側壁外面に於て中央を樞着せしめたる搖動槓桿の一端に連結し其の他端には裝置棒に沿ひて上方に延長し且つ先部は L 字狀に曲り其の角頂部は被處理物を載置せしむる傾斜臺の凹陷部に對合すべくしたる作動桿に連結せられ一方廻轉軸に對し之と反對側に於て裝置の天井より吊下せられたる 2 個の作動桿の屈曲部は廻轉體の廻轉に従ひ前記突起により外方に押壓せられ鈎より離脱する處理物の受臺を構成すべくしたる輪轉式電氣鍍金裝置。

自働瓦斯安全器 (7年特許公告 第 2902 號、公告 7-7-20、東京市、大久保好行) 瓦斯發生裝置に於て引



火爆發の際生ずる災害を確實に防止せしめんとする目的を以て上下に瓦斯流通管を接続したる圓筒 (3) の中央に横軸 (9) の鈎 (11) を嵌入支持せしめたる軸受 (8) 及螺旋撥條 (10) を具ふる弁桿 (5) を縦設し軸 (9) の一端に圓板 (14)

を具へ之れに外接して雲母板又は同種の薄膜を設け他端に電動機と接続せる支持片 (17) にて抱持せしめたる圓板 (13) を具へて成る自働瓦斯安全器。

鑄塊及鑄物押湯早期冷却防止保温鑄造方法 (7年特許公告 第 2905 號、公告 7-7-20、吳市、海軍大臣) 鑄塊及鑄物の押湯の早期冷却を防止し以て鑄塊及鑄物の押湯効果を一層有效ならしめんとする目的を以て鑄塊及鑄物の押湯にコイルを嵌合しこれに高周波電流を通じ以て押湯の早期冷却を防止する鑄塊及鑄物の押湯の早期冷却を防止保温する鑄造方法。

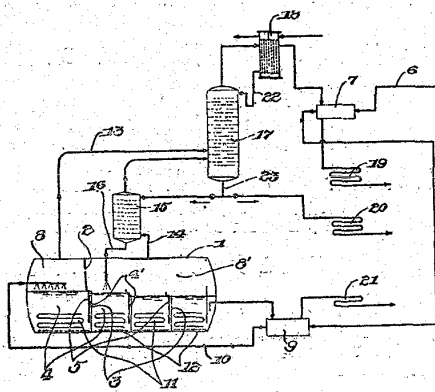
エーア瓦斯發生器 (7年特許公告 第 2906 號、公告 7-7-22、東京市、大久保好行) 外氣の温度高きときは揮發油蒸氣を飽和せざる大氣泡を液面より放出せしめ温度低きときは揮發油蒸氣を飽和せる小氣泡を放出せしめ温度の高低に關せず常に一定濃度のエーア瓦斯を發生せしめんとする目的を以て空氣送尿管 (1) と接続して發生器の底部に内外二重筒より成る氣泡發生器を設け外筒と内筒とに夫々相對向する氣孔 (5) (14) を穿ち内筒には螺旋撥條に壓接するピストンを嵌合し内筒の一端に鍍筒 (9) を接続して成るエーア瓦斯發生器。(圖略)

酸化炭素の還元依る揮發油及び石油の製造法 (7年特許公告 第 2907 號、公告 7-7-22、東京市、財團法人理化學研究所) 適當なる觸媒を撰み反應を容易にし收得量を増大する目的を以て Co 、 Ca 及び Th に Mg 又は酸化 U を組合せ添加せるものを觸媒として使用することを特徴とせる常壓の下にて酸化 C 及 H の混合瓦斯より揮發油及び石油を合成する方法。

附記、輕石、珪藻土等の擔物を使用し及び多容質たらしむる爲蔗糖、澱粉等の炭水化物を添加したるものを焼成して成れる觸媒を使用する方法。

鍍金法 (7年特許公告 第 2912 號、公告 7-7-22、京都市、七里義雄) 緻密強固に被着し且つ一樣なる鍍金用金屬體と被鍍金體との間に電壓を加へて放電を行はしめ此の放電に携はる帶電微粒子を瓦斯火焰に依て吹付くることを特徴とする鍍金法。

揮發油連續蒸餾裝置 (7年特許公告 第 2917 號、公告 7-7-22、東京市、日本石油株式會社) 蒸餾作業能率を高め且燃料を節約し質良好なる揮發油を連續的に分解蒸餾を行ふことを得べからしむる目的を以て蒸餾罐内を前方より後方に向ふに従ひ逐次各高さを増したる數個の區劃板にて區劃し遮壁に依り蒸氣室を遮斷し各區劃板に沿ふて下端を開放したる櫃板を設け下底に於て相通せる蒸溜室と通路とを形成せしめ且つ相隣れる蒸氣室はデフlegメーター及レクチファイヤーを経て連通し豫熱せ



る原料油を後方の蒸餾室に導き之の下底より通路を経て前方の蒸餾室に溢流せしめ連続的に分割蒸餾すべからしめたる揮發油連続蒸餾装置。

酸化チタニウム顔料の製造法 (7年特許公告 第2950号、公告7-7-25、堺市、合資會社堺精煉所) 迅速且容易經濟的に優良なる品位を有する酸化 Ti 或は合成 Ti 顔料を製造せんとする目的を以て Ti 鹽類の溶液を水と共に煮沸し其の煮沸中特定の時期に於て少量の二酸化 Ti 或は合成 Ti 顔料を加ふる事に依り新にチタン酸と沈澱析出せしめ之を水洗乾燥の後加熱することを特徴とする酸化チタニウム顔料の製造方法。

ニッケル、アルミニウム及モリブデンを含有する磁石鋼 (7年特許公告 第2953号、公告7-7-25、東京府、三島徳七) 抗磁力残留磁氣著しく大にしてH加工容易なる磁石鋼を得んとする目的を以て Ni 5~40%、 Al 1~20%、 Mo 10% 以下殘部 Fe を含有する磁石鋼。

附記、 C 1.5% 以下又は之と少量の不純物とを含有する磁石鋼。

ニッケル、アルミニウム及ヴァナヂウムを含有する磁石鋼 (7年特許公告 第2954号、公告7-7-25、東京府、三島徳七) 抗磁力残留磁氣共に著しく大にして加工容易なる磁石鋼を得んとする目的を以て Ni 5~40%、 Al 1~20%、 V 10% 以下殘部 Fe を含有する磁石鋼。

附記、 C 1.5% 又は之と少量の不純物とを含有する磁石鋼。

ニッケル、アルミニウム及銅を含有する磁石鋼 (7年特許公告 第2955号、公告7-7-25、東京府、三島徳七) 抗磁力残留磁氣共に著しく大なる永久磁石鋼を經濟的に得んとする目的を以て Ni 5~40%、 Al 1~20%、 Cu 20% 以下殘部 Fe を含有する磁石鋼。

附記、 C 1.5% 以下又は之と少量の不純物とを含有する磁石鋼。

輪套類製造機械に於ける屈撓轉子の改良 (7年特許公告 7-7-25、東京市、杉崎精) 輪套類を屢展曲成するに當り輪套の側縁に生ずる皺襞又は龜裂を防止し得べき屈撓轉子を得んとする目的を以て各轉子相互間の間隔を水平及垂直方向に適宜に調節し得べく軸装せる輪套

類製造機械に於て一組の水平轉子と是等轉子に轉接すべき他の轉子との間に形成せらるゝ三角形隙を閉塞する袖壁を前記水平轉子の一方に設けたる輪套類製造機械に於ける屈撓轉子。(圖省略)

分銅廢液より砒酸化鹽類を製造する方法 (7年特許公告 第2962号、公告7-7-25、東京市、古河電氣工業株式會社) 特に酸化することなく分銅廢液より經濟的に砒酸鹽を製造する目的を以て As 及 Bi に富む不純なる銅電解液に酸化 Bi 、鹽基性炭酸 Bi の如き Bi 化合物を添加し加熱攪拌したる後濾別して不純物を除去する銅電解液の清淨法に於て副生する砒酸 Bi に苛性アルカリを水溶液又は熔融状態に於て作用し酸化 Bi を回収し砒酸鹽を製造するを特徴とする分銅廢液より砒酸鹽類を製造する方法。

酸化金屬製磁石 (7年特許公告 第2983号、公告7-7-27、東京市、三菱電機株式會社) 特に磁力保持性高くして輕量、強き耐腐蝕性、製作容易等の長所を有する磁石を得んとする目的を以て酸化 Fe と元素週期系表第一族及第二族以外の金屬の酸化物とより成り加熱壓縮其他類似の操作を加へ粒子を密接せしめて成形磁化したる酸化金屬製磁石。

酸化金屬を主體とする磁心の製法 (7年特許公告 第2984号、公告7-7-27、東京府、加藤與五郎外一名) 電氣抵抗甚だ大にして透磁性強く頑磁性甚だ少き輕量なる磁心を經濟的に製する目的を以て酸化 Fe と元素週期系表第一族及び第二族の金屬の酸化物の1種又は2種以上とより成る電氣不良導體を主體とし各粒子を加壓密接せしめたる後400度以上に加熱することを特徴とする酸化金屬製磁心の製法。

固形二酸化炭素の製造法 (7年特許公告 第2986号、公告7-7-27、東京市、三菱商事株式會社) 簡單なる操作に依り從來の固形二酸化炭素集塊物に比し其比重著しく大にして固形二酸化炭素の眞の比重に近き比重を有する極めて緻密堅固なる固形二酸化炭素塊を得んとする目的を以て液状二酸化炭素を二酸化炭素の三重點に於て膨脹せしめて液状二酸化炭素と雪状二酸化炭素との混合物即濕りたる雪に轉化する工程と次に以上の濕りたる雪を之より液體分を分離することなく其儘更に膨脹せしめて氷状物に轉化する工程との結合より成れる固形二酸化炭素の製造法。

冷蔵用煉瓦の製法 (7年特許公告 第2990号、公告7-7-27、兵庫縣、葛山利雄) 多孔性燒成物の表面層の空房にアスファルトを浸潤せしめ急冷却により凝固せしめて内部の細空房を外氣に對し完全に絶縁せしめて防

水性及防熱性を有する優透なる冷蔵用の煉瓦を容易に製し得んとする目的を以て保熱材料粉末に鋸屑其他之に類する可燃性物の粉末及粘結性を混和し加水練捏したる後型を用ひ壓搾し次て焼成したる普通の多孔性焼成物をその未だ全く冷却せざる以前に於てアスファルト熔融物中に短時間浸漬し直に急冷却によりてアスファルトを凝固せしむることより成る冷蔵用煉瓦の製法。

電磁作用時刻記録装置 (7年特許公告第3003號、公告7-7-27、東京市、三好盛晴) 記録装置使用頻繁にして前記被廻轉部を屢々停止せしむるも時計装置の廻轉に停帶又は狂ひを生ぜしめず常に動作確實時示正確にして鮮明なる時刻及番號等を印刷又は鑽孔し得るものを得んとする目的を以て時刻又は時刻及番號記録装置に於て時計装置中の一齒車に彈條によりて連結せられ該齒車によりて廻轉せられ被廻轉部(文字圓板、鑽孔紙支持板、記録紙運行車等)と記録用電磁石と接極子と此接極子に竝前記被廻轉部に聯動する記録部とを備へ記録操作のため前記電磁石を勵磁したる時前記被廻轉部を暫時停止するも前記彈條は其張力を一時増加するのみにして時計齒車の廻轉を阻止することなく而して前記被廻轉部は其停止状態より解放せらるゝ時連結せる前記彈條の張力に因りて時計齒車との關係を平常状態に急速に復舊して廻轉を續行すべくせる電磁作用時刻記録装置。

鋼鐵滿掩合金 (7年特許公告第3006號、公告7-7-27、東京市、日本特殊金屬工業株式會社) 磁性を有し抗張力比較的大にして且つ耐摩滅性大なる合金を得んとする目的を以てCu 40~92%、Fe 7~50%、Mg 1~10%を含有する合金。

軸心を鋼と成し延展部を鑄鐵と成したるロール製造法 (7年特許公告第3016號、公告7-7-29、大阪府、光出久一) 全部鑄鐵より成るロールに比し龜裂を生ずる虞れ尠く又折損し難きチルド又はサンド、ロールを得んとする目的を以て圓筒形を成す鑄型内に鐵板より成る管狀を成す隔板を同心圓的に裝置し前記隔板内には軸心と成るべき熔解せる鋼を又鑄型と隔板間には展延部と成るべき鑄鐵を同一水平面を保ちつゝ注入することを特徴とする軸心を鋼と成し展延部を鑄鐵と成したるロール製造法。

硬度高きイリヂウム合金 (7年特許公告第3023號、公告7-7-29、仙臺市、金屬材料研究所長) 耐蝕力強く且つ硬度著しく大にして軸針萬年筆の尖頭其他磨耗及腐蝕に耐ゆるを要する部分に使用せらるる有效なる材料を容易に得んとする目的を以てイリドスミン10~70%、若くはIr 6~44%とMo 90~30%とを含有して成る硬度

高きIr合金。

附記、普通イリドスミン中に含有せらるゝIrの量に相當する割合を以てIr又はIr合金を使用する事に依る硬度高きIr合金。

特殊合金鑄鐵製チルドロール (7年特許公告第3024號、公告7-7-29、戸畑市、高橋説次郎外二名) チルドロールの種類及使用用途並に其形狀に應じて前記MgとSiの割合範圍を按配してチルドロールの表面面積めて強硬にして全體に於て靱性に富み耐久力優秀なるチルドロールを得んとする目的を以てチルドロール用各種鑄鐵中にMg 5.0~10.0%、Si 1.6~5.0%を共に含有せしむることを特徴とする特殊合金鑄鐵製チルドロール。

インダクタンス、ポテンシヨメーター (7年特許公告第3040號、公告7-7-29、東京府、東京無線電機株式會社) インダクタンス値の圓滑微細なる調整をなし得可き斯様ポテンシヨメーターを得んとする目的を以て2組の同一方向に捲きたる固定インダクタンス捲線を相隣設し該兩捲線間にタップの左右に於ける捲線を相互に逆に捲きたる可動インダクタンス捲線を前記兩捲線と電磁的相關聯する如く設置し之等を上記位置の順序に接續してなるインダクタンス、ポテンシヨメーター。

特許拔萃

鋼球製造法 (特許第96082號、特許7-6-3、東京市藤林君平外一名) (公告拔萃記載誌 鐵と鋼 第18年1號)

抗蝕性強力輕合金 (特許第96129號、特許7-6-6、西宮市、山村市男) (公告拔萃記載誌 鐵と鋼 第18年2號)

可鍛性にして且可淬性なる合金 (特許第96057號、特許7-5-31、獨國、フェライニーグテ、スタールウェルケ、アクチエン、ゲゼルシャフト) (公告記載誌 鐵と鋼 第18年3號)

鐵板洗滌方法 (特許第96280號、特許7-6-16、東京市、鶴川澤太郎) (公告拔萃記載誌 鐵と鋼 第18年2號)

改良鋼塊鑄造法 (特許第96249號、特許7-6-15、東京市、株式會社日本製鋼所) (公告拔萃記載誌 鐵と鋼 第18年3號)

輕金屬及び輕合金の熔解處理法 (特許第96264號、特許7-6-15、神戸市、株式會社神戸製鋼所) Al又はMg等の輕金屬或は其の合金中に含蓄する氣泡を排除し健實なる斯種製品を提供せんとする目的を以て熔解せる輕金屬或は同合金中に鹽化Siを注入することを特徴とする輕金屬及び輕合金の熔解處理法。(鐵と鋼 参照)